



野島山と海をつなぐ小さな水辺



何もいないように見える水辺はカニや汽水の生物たちに欠かせない場所です。こんな水辺を紹介します！

野島の森で暮らすカニ



アカテガニ

アカテガニやクロベンゲイガニは海の近くの森やヨシ原で暮らしています。この水辺には生活の場所として、脱皮などに利用しています。

夏の満月の夜には、産卵のため海まで降りてきます。



クロベンゲイガニ



産卵(放仔)のため海へ向かうカニ

カニは恥ずかしがり屋……。近くに行くと岩のすき間など隠れます。主に夜に活動します。そっと水辺をのぞくと見つけることができます。冬は冬眠して出てきません…。



満ち引きする汽水の水辺



【●満ち】



【○引き】

水辺は、海とつながっていて、満潮時には海水が入ってきます。アベハゼ、イソガニなど汽水や海に住んでいる生き物たちも水辺を利用しています。

小さな水辺を守るために



公園の指定管理者として、この水辺がなくならないように維持管理(泥上げや草刈)をしています。恥ずかしがり屋のカニの隠れ家づくりに草も残しています。ぼさぼさの草と水辺が野島山で暮らすカニを守っています